

2021年2月17日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

スタディサプリ 進路

～高校生一人ひとりの希望・適性に合った学校に出会える～
進路選択をデジタルでサポートする学校向け新サービス
『スタディサプリ for SCHOOL』を4月から提供開始

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：柏村 美生）が提供する進路情報メディア『スタディサプリ進路』は、4月より、高校生一人ひとりの希望・適性に合った進路選択をデジタルでサポートする学校向け新サービス『スタディサプリ for SCHOOL』を提供開始します。

高校では通常、高校1年生より進路選択のための授業が行われており、生徒は、50分の授業時間の中で学びたい学問や行きたい学校を調べています。リクルートは、およそ50年にわたり高校生へのキャリア教育と進路選択支援を行っており、『スタディサプリ進路』では、進路選択における学生の適性把握をサポートするための適性診断検査を提供してまいりました。しかしこれまで、適性診断検査は紙で受検いただいており、結果が分かるまで3週間ほどの時間を要していたため、授業時間内に生徒が自身の適性を知ることができませんでした。



『スタディサプリ for SCHOOL』を活用いただくことで、生徒は、スマートフォンやタブレットを使い、適性診断検査の結果をその場で参照し、希望や適性に合った進学先を調べ、資料請求まで行うことができます。加えて、進学を希望する学校の先輩学生の声なども参照でき、進学後のイメージを膨らませながら、進路を考えることが可能です。2020年4月より希望校への先行導入を開始し、2021年2月9日時点で全国548の高校で活用いただいています。

■ 学びたい学部・学科・コースに出会うための情報収集は難化 ～多様化する社会課題・技術革新などを背景に学部・学科を新設する動きが加速、コロナ禍によってオープンキャンパス開催できず～

過去20年間において、高等教育は量的な拡大が進んでいます。1990年と2019年を比較すると、大学進学率は約2.2倍に、大学数も1.6倍に増加しました。加えて、多様化する社会課題・技術革新を背景に、グローバル化や地域創生、データサイエンス、AIなど新たな学部・学科の新設が加速度的に進み、学位名称数（学士）は約24倍に増加しています。



【本件に関するお問い合わせ先】
 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

リクルートマーケティングパートナーズはこれからも、ひとりひとりにあった「まだ、ここにはない、出会い。」を届けることを目指していきます

2019年、リクルート進学総研が全国50,000名の高校生を対象に実施した『進学センサス2019「オープンキャンパス編」』では、高校生が志望校を検討する際に最も重視する項目は「学びたい学部・学科・コースがあること」と分かりました。次いで回答割合が高かったのは「校風や雰囲気が良いこと」でしたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響拡大により、全国の大学・専門学校がオープンキャンパス開催を見合わせたこともあり、進路選択に関する情報収集は極めて難化したと言えます。（※1）

表1. 進学先検討時の重視項目（大学進学者／複数回答）

1	学びたい学部・学科・コースがあること	80.4%
2	校風や雰囲気がよいこと	47.9%
3	自分の興味や可能性が上げられること	46.6%

また、全国の小・中学校、高校において休校措置がとられた2020年3月～4月時点においては、在宅時間が長くなったことで進路選択にかかる時間は増加した一方、学校機能の停止に伴って先生との直接のコミュニケーション機会が減少した結果、「学びたい分野」を決めることが難しいと感じる生徒が増えました。（※2）

表2. 進路を検討するにあたり、コロナウイルス流行による影響を受けて今欲しいと思う情報

1	オープンキャンパスや説明会情報	37.5%
2	入試方法や難易度（時期・科目・倍率など）	35.5%
3	学びたい分野を選ぶための情報（適性診断などを含む）	34.0%
4	キャンパスや実際の授業の様子などの雰囲気	32.8%

■進路選択の未来を創る新サービス『スタディサプリ for SCHOOL』

本サービスを活用いただく生徒は、全138問の適性診断検査を受検することで、自身の強みや学問・仕事分野の適性・適合度に関する結果を即座に確認でき、希望進路先を調べることができます。

適性診断検査は、株式会社リクルートマネジメントソリューションズが提供する適性検査「SPI」の開発チームと共同開発したオリジナル教材です。社会人・学生約3万人への調査を通じてロジックを構築しており、毎年、年間約50万人の生徒（高校1、2年生）が適性診断検査を受検しています。

全138問の質問に回答



性格傾向、学問・仕事分野の適合度を即時に表示



私にはできる！この通りに実行すれば…
勝ち気で合理的な自信家

キミの性格タイプ

「ねえ、これって不便じゃない？なんとかした方がいいよね」
たとえば、あなたが文化祭の運営委員として

学問分野の適性結果(全15分野)

非常に低い 低い 平均的 高い 非常に高い

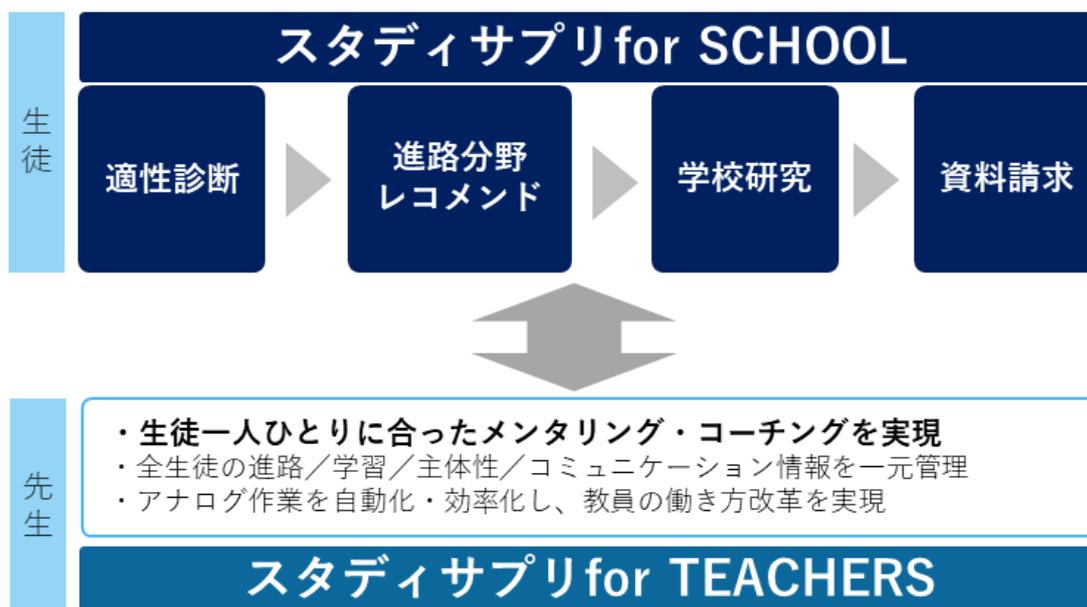
- D 国際関係
- J 健康・スポーツ
- L 理・工
- C 社会・メディア
- I 芸術・表現
- K 教養・総合
- E 文学・人文・人間・心理
- H 家政・生活

仕事分野の適性結果(全23分野)

非常に低い 低い 平均的 高い 非常に高い

- F 音楽・イベント関係
- G デザイン・写真・芸術
- L 建築・土木・インテリア関係
- E マスコミ・芸能
- J 自動車・航空・宇宙
- K 機械・電気・電子・化学
- R 福祉関係
- P メイク・ネイル・エステ

また、本サービスは、先生向けの学習管理サービス『スタディサプリ for TEACHERS』と連携しており、生徒の適性や進路選択に関する考え・想いを先生と生徒が共有するだけでなく、先生による生徒一人ひとりに合ったメンタリング・コーチングが可能となります。



本サービスを先行導入いただいている学校からは、「生徒自身の適性把握から資料請求までを50分の進路選択授業で完結できて便利」「生徒一人ひとりの進捗を把握できるため、生徒への声かけがしやすい」といったお声をいただいております。

『スタディサプリ』は引き続き、オンライン学習コンテンツのみならず、先生とのコミュニケーションや主体性育成、生徒一人ひとりの自分らしい進路選択の実現を可能にするサービス開発を進めてまいります。

※1 出典：リクルート進学総研「高校生の進路選択に関する調査『進学センサス 2019』（オープンキャンパス編）」

<http://souken.shingakunet.com/research/2019sennasus1.pdf>

※2 出典：リクルート進学総研『カレッジマネジメント Vol.225』

「高校生の進路選択に『今』何が起きているのかーコロナウイルス感染拡大による進路選択影響調査ー」

http://souken.shingakunet.com/college_m/2020_RCM225_16.pdf

■『スタディサプリ進路』について <https://shingakunet.com/>

『スタディサプリ進路』は、1970年に創刊した『リクルート進学ブック』に始まり、2020年に50周年を迎えた、リクルートグループにおいて就職支援に次いで歴史の長い事業です。“偏差値だけによらない進路選択”をコンセプトに、変化が激しい社会の中で生徒が生き抜くために、「なりたい自分」と「自己実現できる学校」を発見し、「自分に合った進路選択の実現」を可能にするためのサービスを提供しています。高校3年間を通して、「自己理解」「職業観育成」「学びの内容理解」「学校研究」に対応する様々な教材ラインナップを無料で提供しています。

詳細：<https://shingakunet.com/rnet/column/rikunabi/index.html?vos=conttwnowother00010>

■学校向けスタディサプリについて <https://teachers.studysapuri.jp/>

教職員向けの機能『スタディサプリ for TEACHERS』をご提供することで、学習を児童・生徒頼りにするのではなく、宿題配信や進捗管理、コミュニケーション機能を活用し、先生方からの学習の伴走・サポート、よりよい指導の実現を目指しています。